

物語の舞台は、日本から南へ4時間半、フィリピン・セブ。

セブ／マクタン国際空港を出ると

ムワッとした南国の空気が待っていた。

その温かい空気は、なんだか懐かしいような、

ただいまと言いたくなるような、そんな優しい感情を抱かせる。

この度同行してもらった自然写真家の高砂淳二さんに

機中でセブのイメージを聞いてみた。

一瞬、窓の外に目をやった後「のんびりできる島かな」と答え、

「もちろん恋人や大切な人とね」と付け加えた。

これから始まるお話は、自然写真家・高砂淳二が切り取ったフィリピン・セブをもとに「女性目線で描いた、恋人と行く優しいのんびりとした架空の旅物語」です。

大切な恋人や家族、もしくはまだ見ぬ未来の恋人を想い浮かべながら読んでみてください。

ブルーコーラル南セブ支店の入るラブフォートメッドでのマジックアワー。
パステルカラーがロマンチックなムードを掻き立てる



恋するセブ

極上の Dreamy love story

Photo/ 高砂淳二
Text・Model/ 稲生薫子
Model/Daisuke Watanabe
Special thanks/BLUE CORAL
Design/tomato

どこまでも続く、青い空、蒼い海。

バンカーボートの舳先に座って遠くに広がる水平線を眺めていると、

まるで昨日もここに座っていたかのような、

不思議と懐かしい気持ちになってくる。

隣に座る彼もまた、遠くに浮かぶ水平線を静かに見つめたまま。

「今回は俺が全部エスコートするよ」と珍しく張り切っていたけれど、

どこに連れてってくれるのか、何に出会えるのかすごく楽しみ。

たまには全てをゆだねてみるのもいいよね、なんて思っている。

大切な人と、バンカーボートに乗って極上の旅に出よう

バンカーボートの舳先（バウ）に座り、
風を感じながら旅するのが気持ちがい
いい

バン カーボートに乗って約1時間。
到着した先は、小さな無人島・パンダノン島。船を降りると、BBQセットが波うち際に用意されていた。船のスタッフさんがお肉や獲れたての海鮮、そして南国ならではのフルーツや、さらにはシャンパンまで準備してくれて、気

分はもうお姫様。
セブにこんな素敵な島があるなんて知らなかった……。

「パンダノン島で夕日みたら
すごく素敵なんだろうなあ」

1日目は小さな無人島パンダノン島へ



歌まで歌ってもらって、
プライベートビーチ
みたいだね!



どっちが似合うかな?

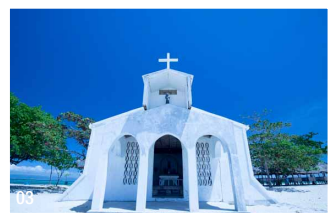


01/パンダノン島にあるアクセサリー屋。様々な貝や、鮮やかな色の小物をアレンジして作られている。リゾートワンピースなどに映える南国風ネックレスなどが購入できる

02/シャンパンを片手に海を眺めながらのんびりするの最高のお楽しみ。海にかざすと、シャンパンに海が逆さまに写り込むのを見ることが出来る



04



03/04/パンダノン島にある唯一の教会。扉がないので、中に座って海を眺めていると風が通ってとても気持ちが良い

パン ダノン島には可愛らしい教会や小さなお土産屋さんがあって、どこを写真に撮っても絵になるし、どこを歩いても気持ちがいい♪
ダイビングはしなくても、また絶対に来たいって思える。

人がほとんどいないから、島もほぼ貸し切り状態だし、BBQして、お昼寝して、波打ち際を散歩して……まさに秘島という言葉がぴったり。

今回は初日に来たけれど、最終日にダイビングをする代わりにここに来てもいいかもしれないな。

どこまでも続く透明な海水、空の青がそのまま海に写っている

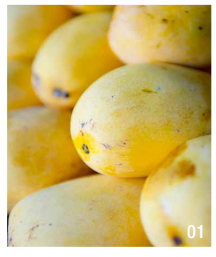
2日目はマクタンから車で南へ3時間半、今やセブのダイビングでは欠かすことの出来ない南セブ・オスロブへ行くことに。

ほぼ100%ジンベエザメに逢うことができるだけでなく、模様も観察できてしまうほど近距離をゆったり泳いでくれるので、ジンベエザメとの2ショット撮影は自分撮りで挑戦。

この日は1時間のダイビングで8個体に遭遇。世界でも類を見ない夢のようなジンベエダイブスポット♪

ゆったりとはいっても、中層を泳いでいるジンベエザメはやっぱり早い! 追い付こうと必死になると、エアが後ろや横にビュンビュン流れていった。

01/02/ボルホーンの中で購入できるマンゴーやトマトなどのフルーツ。マンゴーは1キロ(3~4個)で約70ペソ(約182円。2014.6現在)



03/基本はオキアミを食べるため立ち姿勢の場合が多いが、水中を泳いでいる姿はさすが世界最大の魚類、圧巻!

04/船上で出されるフルーツ。太陽光で火照った身体に染み渡る。日替わりで手に入ったフルーツを出してくれるので、新鮮でおいしい



うわっ!でかい!!

2日目はジンベエザメを二人占め

「ぼ~っとしてたらいつの間にか後ろにジンベエザメがいるから、何回もぶつかりそうになった!(笑)」

世界最大の魚類ジンベエザメを前にぼ~っとしてられるのも、“ここにもジンベエ”、“あそこにもジンベエ”という海だからこそ。

それにしても、贅沢な海!



05/早朝よりローカル人がジンベエザメに餌付けしているシーン。そのオキアミを食べに集まる野生のジンベエザメ。子供のジンベエザメは子犬のように船にピッタリとくっついてエサを食べる

06/旅人の木の幹。左右対称に扇形に広がるのが特徴

07/長い歴史を持ち、町のシンボルでもあるボルホーン教会の前。アーチをくぐると目の前に広がるのはボルホーン海峡

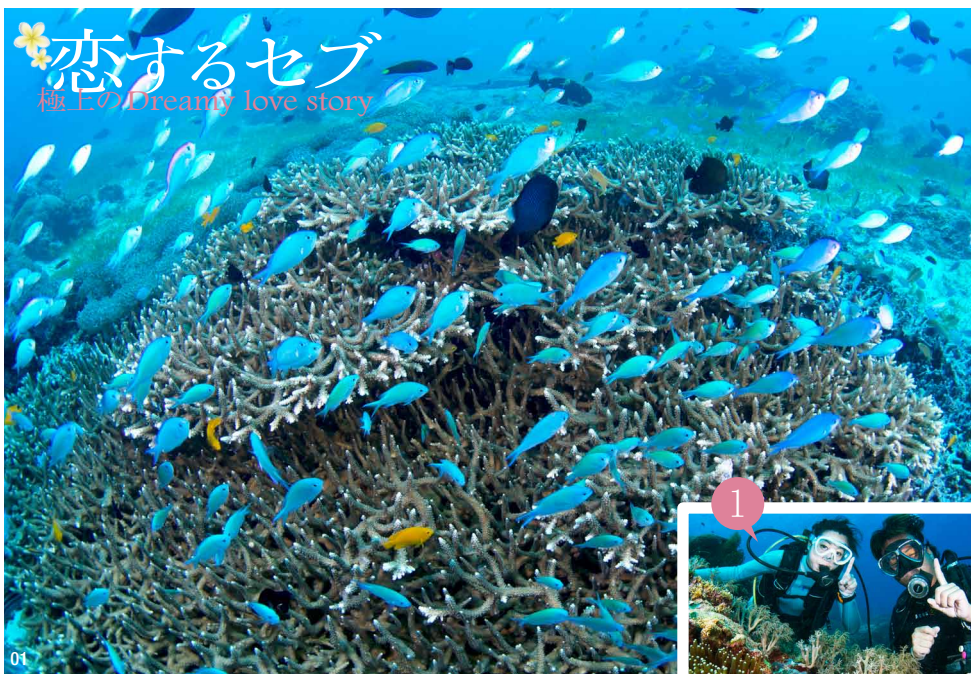


ジンベエザメのいるオスロブは、ボルホーン海峡に面した海岸沿いのボルホーンという町にあり、町にはマンゴーやパイナップルなどのフルーツが買えるローカルのお店や、スペイン統治時代の1598年に建設された古い教会などが点在(一度火事で燃えて1783年に再建されたと書いてあった)。ジンベエダイブ+もう1ダイブしてからでも観光できてしまうほどこじんまりとしたのどかな町で、のんびりと散歩しながら見て回ることが出来た。

「旅人の木って知ってる?」
彼が扇形に広がった木を指さしながら聞いてきた。
「知らない。どんな木なの?」
「名前の由来は諸説あるんだけど、一つは茎の部分に水が溜まっていて、旅人が喉を潤すことが出来るようになっていることからきたらしいよ。
もう一つはどの木も同じ方角を向いて生えているから、木を見れば旅人が道に迷っても来た方角がわかるようになっているって言う言われがあるんだって」

ジンベエザメのいる町ってどんなところ?





01



02



03



06

01/02/ スミロン島の浅瀬に広がるサンゴ。水色が綺麗なデバスメダイを始め、多く魚の棲家になっている
03/ 突如現れたサラワキルカの群れ。船底を叩いて音を出すと、長時間パウライドで着いてきてくれた

04/ クラブフォートメッドで過ごす暮れ時に見えた虹。今取材時には2~3回虹を見ることが出来た

05/ クラブフォートメッドのリニューアルされたプール。このデッキチェアで夕日からマジックアワー、そして星の時間まで過ごすのが贅沢な時間の使い方

06/1本線のハマクマノミ

07/2本線のクマノミ

08/3本線のカクレクマノミ。ディズニー映画「ファインディング・ニモ」の「ニモ」のモデルになったことでも有名

09/セジロクマノミ。このほか、ハナビラクマノミも観察できる

南セブを楽しむなら、 クラブフォートメッドで オシャレにリゾートステイ♪

ステイ先に選んだのは、空港やブルーコーラル本店のあるマクタン島ではなく、南セブ支店のあるリゾート「クラブフォートメッド」。ジンベエザメのいるオスロブまではボートで約10分、バリカサグ島へも1時間程の距離で利便性も高く、ゆったりとセブのリゾートを満喫できるのが魅力の一つ。

クラブフォートメッドはリニューアオープンしたばかりの、清潔感漂う南国風リゾート。夕日が照らすプールサイドでカクテルを楽しみながらふと空を見上げると、雲の切れ間には綺麗な虹が……。コテージとレストランと海と空以外何もない、時間を忘れてのんびりするには打ってつけの、まさに極上の癒しリゾート♡

アフタージンベエは スミロン島に癒されに行こう♪

ジンベエザメダイビングが終わると、ランチ休憩兼、次のダイビングポイントに向かいますとスタッフさん。

オスロブから30分程船を進めると、ひととき綺麗な砂浜が目立つ島が見えてきた。セブでも大人気のスポット・スミロン島♪

潜る前のブリーフィングでは、スミロン島で見られる魚や地形などを教えてもらった。人気が高いのは、水深5mほどの浅瀬にある白い砂地での癒し系のサンゴと色とりどりのスズメダイ、棚の上には紫色の綺麗なパープルビューティーで、さらにはクマノミも5種いると教えてくれた。

「1 (いち) ハマ 2 (に) クマ 3 (さん) カクレって言うよね、全部見つけてみようよ!!」

そう彼に宣言して、足早にジャイアントエントリーで海に飛び込んだ。

エントリーした瞬間に目の前に広がったのはブリーフィング通りの真っ白な砂地と、ポツとこのように生える先だけ水色のサンゴ、そして小さなスズメダイたち。

呼吸しているだけで幸せな海……スミロン島を大のお気に入りポイントにランクイン。



07



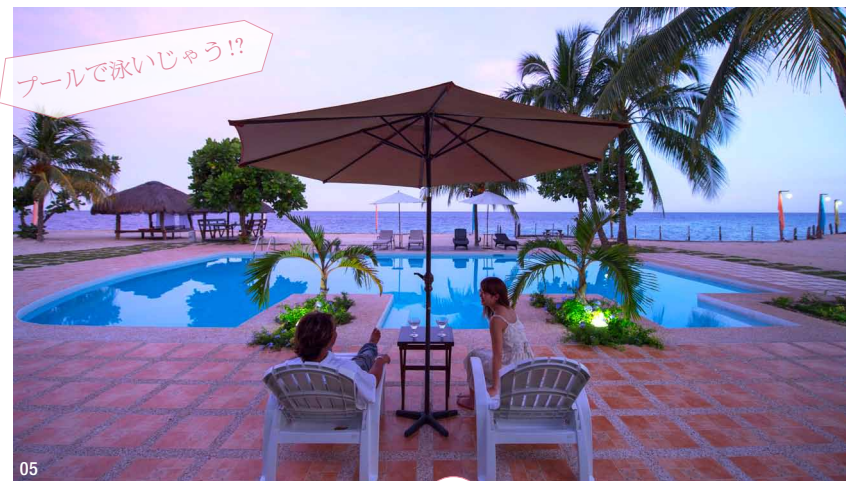
08



09



04



プールで泳いじゃう!?

05



青空が気持ちいい♪
はしゃぎたくなっちゃうね!



01/バリカサグ島の陸上。「BALICASAG ISLAND」の文字が素敵な石垣は歩いているだけで気持ちが良い
02/バリカサグと言えばギンガメアジ! この日はガイドもビックリの大編隊。編隊の中に入ればアドレナリンMAX!
03/近絶滅危惧種に指定されているタイマイ。バリカサグでは、人の大きざぐらいあるカメに出くわすこともよくある



全部ギンガメアジ!?
こんな大編隊、初めて!!

恋するセブ
極上のDreamy love story

3日目は極上な海、バリカサグへ



04/最近ではレアキャラのバラクーダに奇跡的に出会えた
05/フィリピンを始め東南アジアのダイビングで使用されているバンカーボート。左右に張り出したアウトリガーのおかげで揺れが少ない。ブルーコーラルの船はトイレも完備され、大きくて乗りやすい
06/07/08/09/バリカサグ島に咲く色とりどりの花。色がとても鮮やかなので被写体としても、目で見ただけでも楽しめる



アフターダイビングは、バリカサグ島に上陸♪

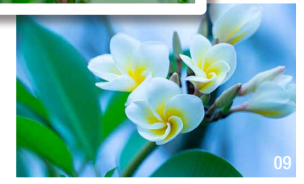
バリカサグ島では、ハイビスカスをはじめとする南国ならではの花が咲き乱れ、海は太陽に照らされてキラキラ輝いていた。写真を撮っていたらあっという間に時間は過ぎ、船に戻るようアナウンス。ヤシの木の木陰で昼寝ができれば最高だっただろうなぁと後ろ髪を引かれる思いでの帰船だったけれど、「今日は夕日が綺麗だと思うよ」とスタッフさんが教えてくれたので、期待に心が躍った。

メアジが旋回しているのは、何度体験しても胸がドキドキ。

「いや〜すごかった!」

リクエスト通りの“ギンガメアジに巻かれる”という夢を達成し、興奮気味の彼。

バリカサグではギンガメアジのほか、人の大きさほどもあるタイマイやアオウミガメ、さらにはバラクーダにも出会え、大満足の一本!!



恋するセブ

極上の Dreamy love story

太陽が沈む頃、プールサイドに置かれたデッキチェアに寝転がり、

海と空の境目を見つめていたら、

綺麗な夕日だけでなく、ほんのひと時のマジックアワーにも出会えた。

マジックアワーが終わると、今度は月と星のショータイム。

言葉はいらない。ただ、空を見つめていたい。

心の底から感動する景色に出会うと、

ため息がとまらなくなるんだって、初めて知ったな。

この旅で海と同じくらい楽しみにしていた星空。

帰国する前に出会えてよかった……。

聞こえるのは、ただ、波の音だけ

1日目のバンダノン島から始まって。

2日目はオスロブでジンベエザメに逢って、スミロン島で癒されて……。

最終日にはバリカサグ島でギンガメアジの群れに巻かれて、夜は満天の星空……。

帰りたくないな。

このまま時が止まってしまえばいいのに……。

---to be continued.....

吸い込まれそうになるほど美しいクラ
フオートメッドから見る星空。流れ
星や天の川も観察できる。写真右側
にある白っぽくなっている星の群生が
天の川



01/ナルスアの浅瀬には癒し系のサンゴが広がる

02/ブルーコーラル本店が入るホワイトサンズリゾート内にあるアナハタスパ。ジャグジーバスに入って身体を温めてからのフルコーススパをぜひ体験してほしい

03/ブルーコーラル本店からボートで20分ほどのところに位置するヒルトウガンで見られるツバメウオの群れ。臆病な性格なので、驚かさないうちうたりと並んで泳ぐのが迷がさないコツ

04/こちらもヒルトウガンで見られるロウニンアジの群れ。ツバメウオとは違い、ロウニンアジはかなりスピーディーに動くので並走するとかなり体力を消費する。残圧に注意



06



07



08

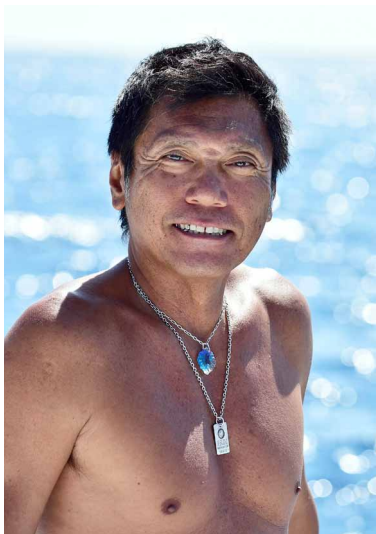
05/セブを一望できる高台「Tops (トップス)」から見たセブの夜景。視界の邪魔をする建物や山がないのでかなり開放感があり、ロマンチックムードが漂うのでデートにオススメ♡

06/ブルーコーラル本店の目の前の海で見られる巨大なイワン玉。壁のようになって群れている。ボートで5分の距離なので船酔いしている暇もない

07/08/Topsの帰り道にあるLa Tegola Tops店で食べたカルツォーネ。オーナーのヒロさんが最近お気に入りだという。マクタンには美味しくディナーが食べれるところがたくさんあるので、ぜひブルーコーラルスタッフに聞いてアフターダイビングも楽しんでほしい

Introduce to BLUE CORAL

極上ライフをエスコートしてくれるのはCEBU/BLUE CORAL!



ブルーコーラルオーナーのヒロさんと下釜宏さん。海から陸まで全てコーディネートしてくれるので、なんでも聞いてセブを満喫しよう!

おかえりなさい。

ここでセブを舞台にした旅物語は終了です。物語の続きは是非、ご自分の手で描いてください♪

今回、「優しくのんびり、しかも極上の夢の恋の物語を作りたい」というわがままなテーマに答えて3日間の旅をエスコートしてくれたのは、セブ・マクタンに本店を構えるBLUE CORAL。マクタンでももちろんダイビングは可能で、ショップから目と鼻の先にあるポイントではイワシのトルネードや、ツバメウオ、ロウニンアジのほか、珍しいマクロ生物にもたくさん遭遇できます。

*

夜景ポイントもちゃんとあり、「TOPS」と呼ばれる山の頂上からはセブを一望でき、とてもロマンチック。

「このTOPSの夜景、俺の特等席だったんやけどな〜」と笑っているのは、ブルーコーラルオーナーのヒロさんこと下釜宏さん。

写真もとても上手で最近ではカメラの性能にも詳しいので、セブの生物の撮り方やカメラの使い方がわからなくても大丈夫! 教えてください〜って言えば、笑顔で教えてくれるはずですよ。

*

マクタンには美味しいご飯や疲れを癒してくれるマッサージ店も数多くあり、アフターダイビングも大いに楽しむことができます。

また本店の入るホワイトサンズリゾートには「極上ポイント」がもう一つ。アナハタスパです。

宿泊者には割引サービスがあり、そうなくても4〜5,000円も出せば、ジャグジーバスからアロマオイルマッサージまで、日本なら2〜3万円はするであろうフルコースを受けることができます。



高砂淳二さんに旅を終えて感じたことを伺いました。

「今回、海だけでなく、陸や星まで撮ってみてセブの“底力”を感じました。短時間であそこまでいろんなものを見せてもらえる場所はそうはないと思う。セブは恐るべし。ぜひ訪れて欲しいです!」

恋するセブ

極上の Dreamy love story

BLUE CORALの安全対策について

ブルーコーラルではダイビング時の安全対策に力を入れています。
オーナーのヒロさんにお話を伺いました。

Q スナイパー*のシステムは、いつから始めたのですか？

※ダイビング中に水面からダイバーを監視し、居場所を把握してくれているローカルスタッフのこと。(写真参照)

A だいたい2年くらい前から、自分がバリカサグに行った時には必ずやらせていました。

バリカサグは小さな丸い島で、潮が速くなるとボートから死角になる位置まで持って行かれてしまうのでやらせていた次第です。

今では、全てのダイビングでやらせるようにし、どんな時でも実施できるようにスタッフ養成を行う事になっています。

スナイパーは、ローカルの人たちがそう呼び出したので、そのまま引用して使っています。

Q 1ダイブに何人くらいスナイパーはつきますか？

A 1ダイブに、1～2人が多いです。スナイパーには必ずブイ（浮き）を持たせて、そのブイとスナイパーの位置をボートから他のスタッフが監視するというシステムです。

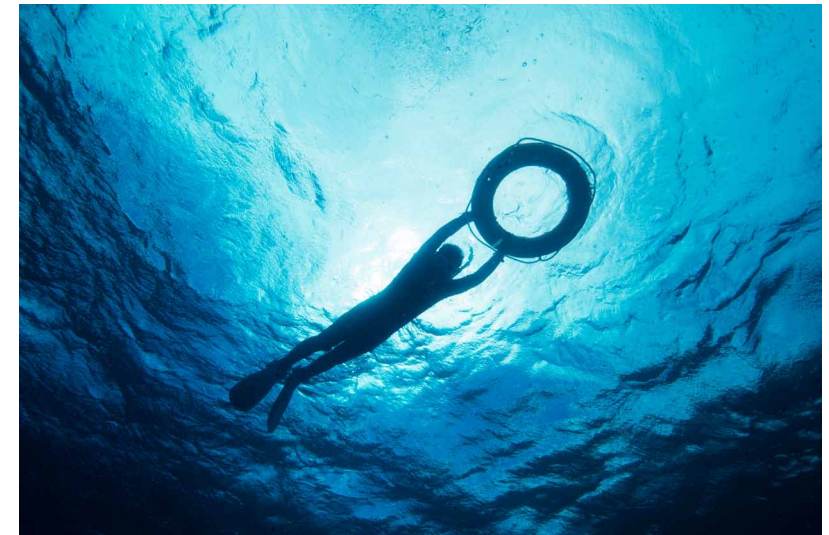
例外もありますが、弊社は、1グループ4人のゲストにガイド1人を基準にしています。ゲストの経験や、その日のポイント環境により、1スナイパー、もしくは2スナイパーを配置します。

Q 今ブルーコーラルで一番重要視している安全対策はなんですか？

A 今回のバリの事故もありましたし、最近やはり漂流事故を重視しています。

しかし、セブエリアはどのポイントもバリのような事件が起きることはあまり無いので、そういう面では今まで通りでも問題は無いかとも思いますが、安全にやり過ぎは無いかとも思いますが、出来るかぎりの事は行うようにしています。

他にも、ダイビング時にはボート携帯用の酸素キットを3キット、ショップ常備の酸素キットを1キット、ショップ常備のAEDを1つ常時配置しております。



水面でダイバーを見逃さずに安全管理をしてくれるスナイパー。ゲストの数にあわせて人数が変動する

今回の取材中も、どのタイミングで水面を見上げてもスナイパーの姿が見えました。ボートとつながった人が常に自分たちダイバーを見てくれる、潜っている人にとってこれ以上の安心はないと感じました。

ブルーコーラルの安全対策はばっちりです！ダイバーの皆さんは“極上のセブライフを満喫すること”に専念し、贅沢な時をお過ごしください。



ウェブマガジンと
同じ旅がしたい！

今回のウェブマガジン“恋するセブ～極上の Dreamy love story”はそのまま実際に再現ツアーとして組むことが可能!!

また、ブルーコーラルでは金曜夜出国、日曜夜帰国の「週末は手軽にセブでフェリツアー」も予定中！「週末どこか遊びにいくの？」

「うん、ちょっとセブまで～♪」なんてそれこそ極上の週末！詳しくはブルーコーラルまで☆
➡<http://www.bluecoral.jp/>

let's go to trip